

J-STOPのこれまでの活動と今後の展開について

公益社団法人地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター
中村 正和 (J-STOP開発・普及WG代表)
阪本 康子 (J-STOP事務局)

日本禁煙推進医師歯科医師連盟では、日本における禁煙治療・支援の推進を目的に、2010年から禁煙治療のための指導者養成プログラムの開発・普及プロジェクトJ-STOP (Japan Smoking Cessation Training Outreach Project) を実施してきた。2015年からは公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センターとの共同開催の形で実施している。2010年に全国の医療従事者へのトレーニングを開始して以降、12年間に約9,000人の医療従事者が受講するという成果が得られており、2014年には厚生労働省が主催する第3回「健康寿命をのばそう！アワード」において、健康局長優良賞を受賞した。

2022年8月20日から、運営費がより安価なWEB学習教材に切り替え、内容も追加・更新して、「J-STOPネクスト」として普及するとともに、同日に完成を記念するセミナーを開催する。

本稿ではこれまでのJ-STOPの活動と「J-STOPネクスト」としての今後の展開について述べる。

1. これまでのJ-STOPの活動

(1) トレーニングの概要

J-STOPでは、eラーニングによる3つのプログラムを用いた指導者トレーニングと、講義動画の視聴を主としたWEB簡易学習プログラムの提供を行ってきた。

eラーニングによるトレーニングは、禁煙外来における禁煙治療の方法を学習する「禁煙治療版」(学習時間10~12時間)、日常診療の場や薬局・薬店で短時間の禁煙アドバイスを行う方法を学習する「禁煙治療導入版」(同3~4時間)、地域や職域の保健事業の場で禁煙支援を行う方法について学習する「禁煙支援版」(同4~5時間)の3種類である。

(2) eラーニングの普及実績

2010年に全国の医療従事者へのトレーニングを開始して以降、毎年700~1,200人が受講し、2021年までの12年間に約9,000人の医療従事者が受講するという成果が得られた。主な受講団体別の受講者数と修了率は、医療機関および保健医療団体1,572名(66.3%)、医療保険者1,912名(68.5%)、学会1,492名(57.8%)、教育機関850名(97.9%)、自治体2,125名(71.5%)であった。

(3) eラーニングの学習効果

eラーニングの学習により、受講者の禁煙治療・支援に関する知識、態度、自信、行動(禁煙アドバイス)がトレーニング前より改善するだけでなく、受講者間の成績格差の縮小にもつながることが確認されている。トレーニングの効果については、日本健康教育学会誌に原著論文としてまとめた(中村ら:日本健康教育学会誌 2017;25(3):180-194)。

2. eラーニングからWEB学習教材「J-STOPネクスト」へ

(1) 切り替えの理由

eラーニングの実施にあたっては、システム運用費等の経費を賄うため、公益社団法人地域医療振興協会と共同して、毎年、外部機関からの助成金を申請・取得してきた。今後のトレーニング事業の継続のため、運用費がより安価で、維持管理と学習内容の更新作業が容易に行えるWEB教材への切り替えを行う。切り替え後は、運営費の問題による受講期間の制約(年間3ヵ月)がなくなり、通年でいつでも受講することができる。

(2) WEB学習教材「J-STOPネクスト」の概要
WEB教材では、これまでの学習内容に加えて、加熱式たばこ使用者の禁煙支援、ICTを用いた禁煙治療、ニコチンの依存性と毒性、喫煙と感染症、ナッジによる禁煙治療などの新規コンテンツも追加する(図1)。

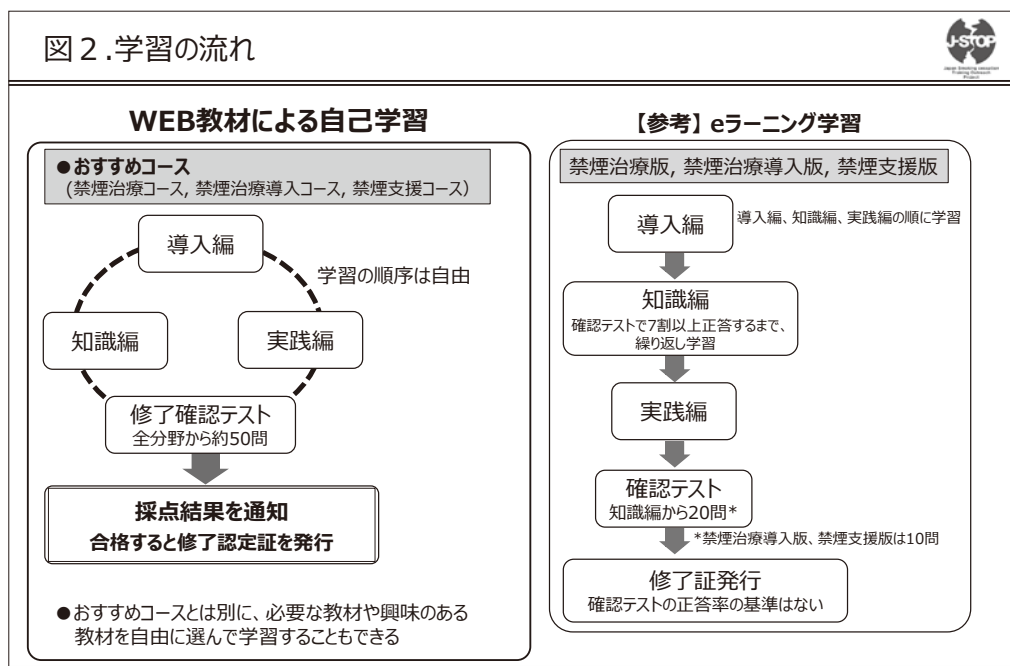
eラーニングと同様に用途に応じたお勧めの学習コースを設定し、禁煙治療コースでは27単元(学習時間の目安は13~15時間)、禁煙治療導入コース18単元(6~7時間)、禁煙支援コース16単元(7~8時間)で構成される。用途にあわせたコースの学習だけでなく、関心のある単元だけを学習することもできる(図2)。

図1.WEB教材の構成

	禁煙治療コース	禁煙治療導入コース	禁煙支援コース
導入編 (講義動画)	「日常診療の場での禁煙の働きかけと最新の治療方法」	「日常診療の場での禁煙の働きかけ」	「健診や保健事業の場で短時間でできる禁煙支援」
知識編 (テキスト学習)	(一部動画あり) 9単元*	(一部動画あり) 4単元*	(一部動画あり) 4単元*
トピック学習	最近のトピックなど(動画学習) 加熱式たばこ、ICTを用いた禁煙治療、ニコチンの依存性と毒性、喫煙と感染症、ナッジによる禁煙治療、禁煙支援のための行動科学	最近のトピックなど(動画学習) 加熱式たばこ、ICTを用いた禁煙治療、ニコチンの依存性と毒性、喫煙と感染症、ナッジによる禁煙治療、禁煙支援のための行動科学	最近のトピックなど(動画学習) 加熱式たばこ、ICTを用いた禁煙治療、ニコチンの依存性と毒性、喫煙と感染症、ナッジによる禁煙治療、禁煙支援のための行動科学
新規	特定喫煙者(テキスト学習) 妊婦、未成年、精神疾患	特定喫煙者(テキスト学習) 妊婦、未成年、精神疾患	特定喫煙者(テキスト学習) 妊婦、未成年、精神疾患
実践編	1.バーチャル症例検討 禁煙治療2症例 2.バーチャルQ&A演習 薬剤10問、カウンセリング10問 3.バーチャルカウンセリング 禁煙治療2例、日常診療、健診、小児科(保護者)	1.バーチャルカウンセリング 日常診療、健診、小児(保護者) 2.質問形式によるQ&A演習 前熟考期・熟考期各5問、準備期10問	1.健診等の場での禁煙支援(カウンセリング学習) テキスト学習と支援場面の動画 2.質問形式によるQ&A演習 前熟考期・熟考期各5問、準備期10問
参考動画集	「職場における受動喫煙防止対策」「歯科での禁煙支援の必要性和取り組み方」「歯科での禁煙支援の実際」「インセンティブ行動療法を用いた禁煙支援について」「電子タバコや加熱式たばこに関する最新のエビデンスやイギリスでの状況」「カウンセリング」特別編(適切な支援例や問題のある支援例)、その他国内外の専門家による講義		

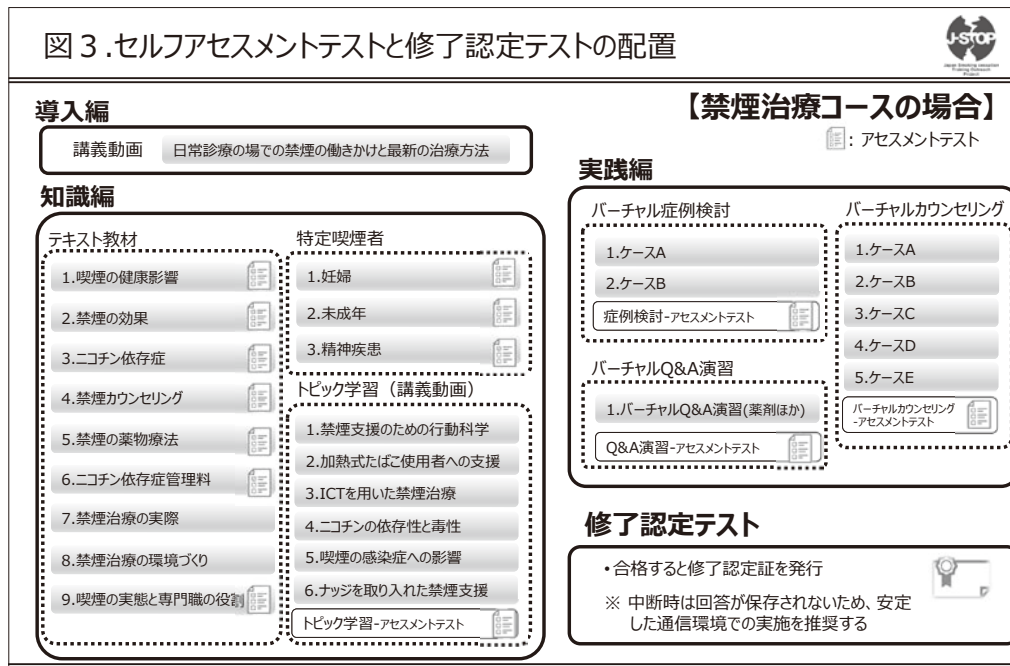
* テキスト学習の内容
①喫煙の健康影響
②禁煙の効果
③ニコチン依存症
④禁煙カウンセリング
⑤禁煙の薬物療法
⑥ニコチン依存症管理料
⑦禁煙治療の実際
⑧禁煙治療のための環境づくり
⑨喫煙の実態と禁煙推進のための保健医療専門職の役割

治療導入版、支援版は①、②、③、⑤のみ



学習教材ごとにセルフアセスメントテストを設けており、知識やスキルの習得を確認することができる(図3)。また、コース終了後

に修了認定テストを設けて、合格点に達した受講者に認定証を発行する。



3. 「禁煙支援の困りごとと解決！スキルアップセミナー」の開催

J-STOPネクストの完成にあわせて、2022年8月20日(土)に「禁煙支援の困りごとと解決！スキルアップセミナー」をオンライン形式で開催する。セミナーは「J-STOPネクスト」の紹介を兼ねたミニ講演(30分)と、それに引き続いて行う禁煙支援や治療に関する困りごと相談(120分)の2部構成とし、現場の実践に役立つ情報を提供する。困りごと相談は、事前に現場での困りごとについて選択肢や自由記載で回答してもらい、当日、J-STOPの開発・普及ワーキンググループメンバーが、専門家同士でやりとりしながら、回答する。当日、ライブでの質問も取り上げる予定である。

●開催概要

【開催日】2022年8月20日(土) 13:30~16:00

【会場】オンライン開催 (Zoom)

【参加費】無料

【プログラム】13:30~14:00 J-STOPネクストのご紹介
14:00~16:00 禁煙支援なんでも相談

●申込みURL

<https://forms.office.com/r/FpffdhJ6tL>



詳細は本号の折り込みちらしをご覧ください。

4. おわりに

本稿で紹介したWEB教材学習であるJ-STOPネクストへの切替えおよびセミナーの開催は、ファイザー Global Medical Grantsの公募型医学教育プロジェクトの助成や地域医療振興協会の事業費を得て実施している。前者の助成期間は2021年10月から2022年9月までの1年間である。プロジェクト助成のテーマは「一般診療における禁煙治療」である。これまでのJ-STOP利用団体に加えて、今回は、プライマリ・ケアや健診に関わる諸団体(日本医師会、日本プライマリ・ケア連合学会、全国国民健康保険診療施設協議会、日本総合健診医学会など)にも周知して、J-STOPネクストの利用とセミナーの参加を呼びかける。今後、プライマリ・ケア従事者をはじめ、保健医療従事者に広く利用されるよう、さらなる普及に努めたい。

《謝辞》

J-STOPの開発・普及ワーキンググループのメンバーは中村のほか、本医師連の会員である、大島 明、飯田真美、加藤正隆、川合厚子、田中英夫、谷口千枝、野村英樹、増居志津子、の計9名である。今回のプロジェクトにはこのうちの7名が関わっている。ここに記して感謝の意を表する。